

東京経済大学報

2017年度 第50巻 6月臨時号



2017年度 新任教職員・役職者紹介
教職員リレーコラム スタート！

- ★学長・堺憲一教授 (私の研究)
- ★事務局長・田口修さん (私のシゴト)

学生コラム・私の留学体験記 / 留学生コラム ほか

2017年度 新任教職員・役職者紹介

★主な担当科目(教員のみ) ◆趣味・特技 ■東経大での抱負 ※敬称略

経済学部



経済学科 専任講師
新井田 智幸
(にいだともゆき)



国際経済学科 専任講師
山辺 弦
(やまべ げん)



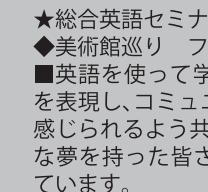
国際経済学科 准教授
李 蓮花
(り れんか)



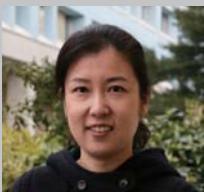
経済学科 特任講師
市川 ゆりえ
(いちかわ ゆりえ)



経済学科 特命講師
鈴木 恒雄
(すずき のぶお)



★総合英語セミナー TOEIL I・II
◆美術館巡り フルート
■英語を使って学生の皆さんのが自分の気持ちを表現し、コミュニケーションをとる楽しさを感じられるよう共に学んでいきたいです。様々な夢を持った皆さんとの出会いを楽しみにしています。



経済学科 受入交換教員
于 麗
(う れい)



経営学部



経営学科 専任講師
木下 亮
(きのした りょう)



経営学科 教授
神納 樹史
(じんのう みきひと)



経営学科 教授
山本 晋
(やまもと すすむ)



★応用簿記 会計アドバンストセミナー 簿記会計入門
◆サッカー観戦
■大学を取り巻く環境が日に日に厳しくなっているからこそ「進一層」の精神に近づけるよう、常にチャレンジ精神を持って鋭意、教育研究に務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



経営学科 特任講師
ビアルケ 千咲
(びあるけ ちさき)

★文章表現基礎 アカデミック・シンキング
アカデミック・ライティング
◆ピアノ ドイツ語
■学生が意欲と達成感を感じるような授業を目指したいと思います。



経営学科 特任講師
堀内 泰利
(ほりうち やすとし)

★キャリアデザイン入門 キャリア支援プログラム ジェンダーとキャリア形成 雇用の変化とキャリア形成 産業心理学
◆音楽鑑賞 映画鑑賞 散歩
■学生の皆さんのが充実した学生生活を送り、社会人としての第一歩を踏み出し、主体的にキャリアを形成していくけるようサポートしていきたいと思います。東経大のキャリア教育の充実に貢献していきたいと考えています。



経営学科 特命講師
森 理宇子
(もり りうこ)

★チームワークとリーダーシップ プロジェクトで学ぶマネジメント グローバル研修プログラム キャリアデザイン入門
◆スポーツ観戦
■特命業務として、新しい教育手法の試みにより、授業開発を行います。学生がより楽しく深く学べるように、はじめての試みにチャレンジします。皆さまのご期待に沿い、大学教育に貢献できるように努力いたします。

コミュニケーション学部



特命講師
新井 一央
(あらい かずお)

★キャリアデザイン・ワークショップ(I・II)
/フレッシャーズ・セミナー a データ調査ワークショップ プрезентーション技法基礎(現法)
◆学生時代から旅が好きです 家庭サービスでパン作りや料理をします
■教員生活も30年を超きました。産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとしての知識や経験を生かし、学生の皆さんのがキャリア形成(就職活動を含め)支援させて頂きます。宜しくお願ひします。



教授
大岩 直人
(おおいわ なおと)

★広告論 コミュニケーション戦略論 コンセプトと表現 メディアクリエイティブワークショップ他◆写真 テニス スキー(下手ですがW)
■発想刺激型の授業を目指したいと思います。ゆえに時には、今までの知識を意識的に切り捨てて、自分の中身を再構築することもあります。unlearnということですね。



専任講師
小林 誠
(こばやし まこと)

★文化人類学 ◆散歩
■初めまして。小林誠と申します。専門は文化人類学でツバルという太平洋の島国の伝統文化を研究しています。ツバルだけでなく広く異文化に興味があり、学生のみなさんにも「自分とは異なるもの」から学ぶというのを実践して欲しいと考えています。

現代法学部



教授
中川 純
(なかがわ じゅん)

★労働法
◆散歩
■札幌からやってまいりました。国内外でのこれまでの経験を活かして、特に教育面で東京経済大学の学生に貢献できればと考えております。これから、よろしくお願ひいたします。



教授
野村 武司
(のむら たけし)

★現代行政法
◆自然を観て回ること 音楽
■ゆっくりと確実に積み上げていきたいと思います。何を?それはいろいろです。例えば、学生との信頼関係、同僚との交流、教育力、研究成果等。子供の権利に関する問題にも取り組んでいます。宜しくお願ひします。



客員教授
水野 邦夫
(みずの くにお)

★企業取引と法 ビジネス法入門
裁判傍聴演習 社会・法学入門
◆スキー 山登り ゴルフ 野球などスポーツ観戦
■学生諸君との学びの中に自分も学生諸君も新たな発見を見出せたら幸いです。考える授業を目指します。

職員



コミュニケーション学部
部長
柴内 康文
(しばない やすふみ)

【経歴】
1994年3月 東京大学文学部卒業
1999年3月 同大学院人文社会系研究科博士課程 単位取得満期退学
1999年4月～2012年3月 同志社大学勤務
2012年4月～本学 コミュニケーション学部教授
2014年4月～2016年3月 同全学教務副委員長



専任職員
海老澤 隆
(えびさわ たかし)

◆スノーボード サイクリング
■東京経済大学の伝統を大切にし、未来に向かいチャレンジしていきます。

事業計画

2020年の創立120周年に向けて、学生の皆さんより輝けるように「教学ビジョン」を策定しました。

教学ビジョン

東経大チャレンジ 2020

2020年。創立120周年に向けて、学生がさらに自信と元気を持てる大学へ。

4つのクオリティを向上させて、実現していきます

EDUCATION QUALITY

(エデュケーション・クオリティ)

自ら学ぶ、ゼミする東経大

少人数教育の拡充により
学生の成長の最大化にチャレンジ



SUPPORT QUALITY

(サポート・クオリティ)

自立を促す、多様な支援

個性に応じたきめ細やかなサポートにチャレンジ



チャレンジする 学生を育てる

学生たちの
潜在能力を最大限に引き出すことが
東経大のミッションです

〔「潜在能力の最大化」への3段階〕

①「はじめて」への挑戦 ▶ ②潜在能力への気づき ▶ ③学生の能力の最大化

CAREER QUALITY

(キャリア・クオリティ)

安心の、就職力

ひとりひとりの将来に真正面に向き合う
キャリア支援にチャレンジ



CAMPUS QUALITY

(キャンパス・クオリティ)

環境との共生、地域社会との連携

自然との調和、地域とつながる大学へチャレンジ



現在の特色と2017年度の主な取り組み

EDUCATION QUALITY

ゼミやワークショップを中心とした少人数教育を推進し、学修成果の的確な把握などにより、基礎力から高度な専門的知識までの修得を図る

現在の特色

①4年間を通じた活発なゼミ教育！「社会科学系ゼミ」と「教養系ゼミ」のいずれも履修でき、多様なテーマから選択可能。海外でのゼミ研修も毎年多数実施

②4つの学部の連携！所属学部以外の専門科目も履修可能

③正課授業と連動した6つのアドバントプログラム！高度な資格や語学力の修得を目指し、卒業に必要な単位としても認定

▶「小規模だが評価できる大学」全国26位、「教育力が高い大学」全国45位(『大学探しランキングブック2017』大学通信)

2017年度の主な取り組み

■キャリアデザインプログラムの開始(4年間を通じた段階的・継続的な少人数キャリア教育の実施)

■「進一層科目群」のスタート(ゼミとキャリア教育の重点強化)

■「特命講師」制度の新設(キャリア教育・地域貢献活動などの充実)

CAREER QUALITY

自分を知り、社会を知り、時代を知ることで、これから社会の変化に対応できる力を育てる

現在の特色

①特色あるキャリア教育！自ら将来を切り拓いていくための、社会人としての基礎力を身につけるさまざまな授業を展開

②1年次から始まる多彩な就職支援！全員面談に加え年間800回以上の就職支援行事を実施

③充実した資格取得支援！専門学校と提携したキャリア・サポートコース

④質の高い就職実績！就職率93.6%、そのうち、正社員としての採用率は98.0%(2016年3月卒業生)

▶「就職に力を入れている大学」全国26位(『大学探しランキングブック2017』大学通信)

2017年度の主な取り組み

■公認会計士試験合格者増加策の実施

■キャリア教育の専門家による授業時間外のサポート

■半期留学制度の導入などによる学生海外派遣の拡大

SUPPORT QUALITY

学習の支え、生活の支え、心の支え。学生ひとりひとりの自立性の涵養を目的とした全学的なサポート体制をつくる

現在の特色

①本学独自の経済支援！給付型奨学金・特待生制度・授業料減免・海外留学研修費用補助・資格取得講座料補助などの制度による高い給付率

②きめ細やかな相談体制！学習センター・学生相談室・グローバルラウンジ・教職ラウンジ・人権相談室など、目的に応じた多様な支援を実施

③卒業生による支援！業界別・地域別就職支援を実施

④父母の会による支援！奨学金・助成金・表彰制度を実施

▶「面倒見がよい大学」全国23位(『大学探しランキングブック2017』大学通信)

2017年度の主な取り組み

■学生支援の財政的基盤および学生経済支援制度の強化

■スポーツ奨励を目的とした支援(創立120周年記念事業の一環として陸上競技部の駅伝チーム強化など)

■グローバルラウンジの多角的な活用

■教職ラウンジの活用促進と教職をめざす学生の支援強化



CAMPUS QUALITY

時代と社会の要請に応えるために「環境と共生する大学」「地域と社会に開かれた大学」をめざす

現在の特色

①自然と伝統の国分寺キャンパス！「東京の名湧水57選」に選ばれた新次郎池をはじめとして、武蔵野の自然が残る緑に囲まれたキャンパス、教室棟には環境に配慮した設備とともに最新のICT設備を設置

②最新スポーツ施設の武蔵村山キャンパス！2015年に全面的なリニューアル

③エコキャンパス宣言！「環境と共生する持続可能な社会の創造」への貢献を使命として2010年に宣言

④地域貢献に取り組む地域連携センター！学生・教職員の地域貢献活動を促進

▶2014年、2015年にグッドデザイン賞を受賞(新図書館など3棟)▶2017年に東京都歴史的建造物に指定(旧図書館)

2017年度の主な取り組み

■「エコキャンパス宣言」の実現に向けた取り組み(「森と水のプロジェクト」「低炭素型キャンパス」の推進など)

■武蔵村山キャンパスのスポーツ施設の活用および課外活動の活性化

■アクティブラーニングの推進に向けたマルチメディア利用環境の整備

私の★研究 学長・経済学部教授 堀 憲一先生

「私の研究履歴」



第1回

教員★リレーコラム

「あなたの研究テーマは?」と聞かれる
と、迷うことなく「近現代イタリア経済史」
と答えるでしょう。主な関心は、19世紀末
から20世紀初頭におけるイタリア近代化
の経済的基盤の形成を探ることでした。研
究を始めた頃、欧米経済史の研究というと、
イギリス、アメリカ、ドイツ、フランスと
いった主要国の研究者が多く、イタリア研
究者は皆無に近い状況でした。イタリア研
究に飛び込んだ最大の理由は、その空白を
埋めたいという動機でした。

研究成果は、多くの論文および『近代イタ
リア農業の史的展開』(名古屋大学出版会
1988年)という、博士の学位を取得する
ことになった著作に収録されています。そ
うした研究の特色はどこにあったのでしょうか。
答えは第一次史料の本格的な活用を
通し、通説とは異なった切り口・考え方を
提示した点、古い制度を活用して資本主義
化が進展したという日伊の共通性と相違性
を解明した点といったところでしょうか。

「近現代イタリア経済史」というメイン
テーマ以外のものを挙げますと、「経済史全
般」「クルマの歴史」「経済小説」という三つ
のテーマがあります。いずれも、担当した講
義やゼミナールの充実を図り、学生たちの
関心の喚起を促すために膨大な文献を読ん
だ分野です。

一番目の「経済史全般」でめざしたのは、
人類の誕生以前の生物の進化を包摂した
トータル・ヒストリーを描くこと。そして、
「人間の生き方に寄与できる経済史」と「先

史時代や進化の問題も視野に入れた歴史像
の構築でした。その成果は、「あなたが歴史
と出会うとき」(名古屋大学出版会、1989年)
と『新版 あなたが歴史と出会うとき』(名古屋大学出版会、2009年)に
収められています。

一番目の「クルマの歴史」では、「ガソリン
車以前の、馬車や蒸気自動車をも視野に入
れたクルマの過去・現在・未来の解明」と「三
つのパラダイムシフトを軸にした構成」を
志向しました。その成果は、「だんぜんおも
しき「クルマの歴史」(NTT出版、2013年)にまとめられています。

三番目の「経済小説」では、多くの作品を
読み、おもしろい経済小説を発掘し、それを
分析・解説することに力を注ぎました。そ
の成果は『日本経済のドラマ—経済小説か
ら読み解く1945-2000』(東洋経済新報社、2001年)と『この経済小説がお
もしろい』(ダイヤモンド社、2010年に示
されています)。

こうして私の研究履歴を回顧してみます
と、「はじめて」へのチャレンジと「ものごと
が移り変わっていくことへの興味」という
二つの「エンジン」によって、推進されたの
ではないかと思えてきます。

私の★オシゴト

事務局長 田口 修さん



第1回

職員★リレーコラム

「人は何のために仕事をするのか、仕事とは
何か」「そんな問い合わせがよくあります。も
ちろん私たちは、生活の糧を得るために仕
事をしているわけですが、実はそれだけで
はなく、仕事を通して社会に役立っている
ことを実感したい、やり甲斐を得て達成感
を味わいたい、人としての成長を感じたい、
そんな風に思いながら、その報酬に見合う
結果を生み出そうと努力しているのではな
いでしょうか。

私は、大学の職員になつて今年で35年
になり、今は事務局長として大学の経営に
関わる仕事をしています。それほど多くの
部署を経験せずに今に至つてしているので、
少々心残りではありますが、これまで一番
思い出に残っているのは、新学部・新学科
の設置認可申請のために配属された部署で
の仕事です。1998年度の経営学部流通
マーケティング学科、2000年度の現代
法学部、そして2002年度の経済学部国
際経済学科の設置認可申請に関わった4年
間は、とても貴重な経験でした。

当時の設置認可に係る文部科学省への申
請業務は、複雑かつ膨大な書類の提出を求
められる仕事でした。大学業界では、認可申
請の仕事に関わると寿命が縮むとまで言わ
れ、肉体的にも精神的にも過酷な業務でした。
申請期限の数ヶ月前からは、ほぼ毎日深
夜まで残業が続き、申請期限が間近に迫る
頃には徹夜の毎日でした。徹夜明けで娘の
小学校の運動会の応援にも行けず、残念な
思いもしましたが、兄から「40代で経験す

る仕事は、一生の宝となるから頑張れ」と励
まされ、それ以降、不平不満は封印し、業務
を全うしたことが、今の仕事への自信にも
繋がっていると思っています。

長州藩士高杉晋作の辞世の句と言われて

いる「面白きこともなき世を面白く住みな
すものは心なりけり」という言葉がありま
す。世の中は、心の持ち方、心の有り様で、い
かようにも捉えることができる。今を面白
くするのも、つまらなくするのも心の有り
様「考え方」次第であると私なりにこの句を

解釈しています。仕事を続けていると、辛い
こと、思い通りにならないことにしばしば
直面します。そんな時には、「この経験が
きっと役に立つ、いい勉強になる」そんな風
に気持ちを切り替えるように心がけてみて
はどうでしょう。

学生の皆さんも間もなく職に就く時が
やってきます。「自分の仕事は、必ず誰かの
ために役立っている、誰かを幸せにしてい
る」という誇りを持って仕事に取り組んで
欲しいと思います。思い通りになる仕事ば
かりではありません。むしろそうでないこ
との方が多いだらうと思います。「住みなす
ものは心なりけり」私は明日もこの気持ち
で頑張ろうと思います。

次号は・・・総合企画部 部長
一 瓶 司さんです

コミュニケーション学部
客員教授 芳賀 啓先生です

る仕事は、一生の宝となるから頑張れ」と励
まされ、それ以降、不平不満は封印し、業務
を全うしたことが、今の仕事への自信にも
繋がっていると思っています。

5 東京�済大学 2017年度 第50巻 6月臨時号



私の海外体験記

田崎 奈々

コミュニケーション学部
コミュニケーション学科 4年

私は3年次に本学の協定校の一つであるオーストラリアの西シドニー大学で留学しました。私は、高校生の頃から洋楽が好きで海外に憧れています。そこで、1年間海外の大学で現地の学生と一緒に学ぶことができ、さらに4年間で卒業できる制度がありました。

まず、留学して驚いたのが大学の規模の大きさでした。建物が大きいだけでなく、ジムも寮もスーパーもあり、一つの街のようでした。休み時間には、川の土手で本を読んだり、勉強したりしている学生をよく見かけました。敷地内の移動は、校内をスクールバスが走っており、バスか車でしか移動できない広さでした。

次に、私は本学の講義で興味を持ったSNSなどのメディアを使ったマーケティングや広告手法について学びたいと思いつい、広告・マーケティングをはじめ異文化理解の授業を履修しました。その中で大変でもあり、やりがいがあったのがチョー

トリアルです。日本と同じような大教室での講義もあるのですが、チョートリアルと呼ばれる少人数制のディスカッションが中心のクラスでは、自らの考えをきちんと伝える力が必要だと気づかされました。

また、授業がない日や放課後は様々なアクティビティに参加したり、クラスメイトと一緒に遊びに行ったりしました。例えば、日本語サークルで日本語を学んでいるオーストラリア人たちと交流したり、BBQしたりしました。また、課題が終わったら週末は友達と一緒に遊びに

行き、日本とは違った過ごし方をしました。さらに、学期間の休みにニュージーランドやフィジーなどに旅行に行つたこともいい思い出です。

もうひとつ留学中は楽しいことだけでは無く大変なこともあります。特に何度もありました。講義でも周りはオーストラリア人しかいないので、最初は発言するどころか予習と授業についていくことだけで必死でした。また、語学留学とは異なり、周りの人は英語が話せるのが当たり前のという前提で話していくので、自分の意見が伝えられなかった時はとても悔しく、自分自身に腹が立つこともたくさんありました。

さらに、大学にはオーストラリア人以外にもインドや中東の人もいました。文化や生活スタイル、それに宗教観も異なる学生たちとの交流を通じて衝突することもありましたが、それと同時に学ぶことも多く、日本にいた頃よりも柔軟に考え方などができるようになりました。

この留学経験を大切にし、将来の仕事に



行き、日本とは違った過ごし方をしました。特に何度もありました。講義でも周りはオーストラリア人しかいないので、最初は発言するどころか予習と授業についていくことだけで必死でした。また、語学留学とは異なり、周りの人は英語が話せるのが当たり前のという前提で話していくので、自分の意見が伝えられなかった時はとても悔しく、自分自身に腹が立つこともたくさんありました。

さらに、大学にはオーストラリア人以外にもインドや中東の人もいました。文化や生活スタイル、それに宗教観も異なる学生たちとの交流を通じて衝突することもありましたが、それと同時に学ぶことも多く、日本にいた頃よりも柔軟に考え方などができるようになりました。

この留学経験を大切にし、将来の仕事に



人々の生活を豊かに

楊 君澄

クンセイ

経営学部 経営学科 4年

私は高校を卒業して、香港で働いていました。働いていた時に、自分の学歴と能力の不足を感じ、仕事をやめて日本へ留学しようと決めました。日本を選んだのは、小さい頃から日本に憧れていたからです。子供の時から、アニメ、音楽、ドラマ、映画、食べ物、文化などに影響を受け、そして実際に日本へ旅行し、日本で生活したいという気持ちになりました。(この小さな気持ちが

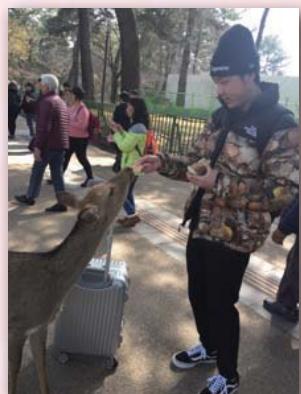
自分の夢になり、目標になりました。これをきっかけとして日本に留学しました。

日本に渡ってからまず日本語学校に1年半通い、日本語をゼロから勉強しました。その後、大学の入試を受け、東京経済大学に入学しました。そして、大学で学んだ知識を実務面で活かすために、一年生から税理士事務所でアルバイトを始めました。

税務会計補助として税金計算と会計処理を主にやっていました。金額を間違えれば会社の信用にかかることになり、ミスが許されない状況の中で仕事に取り組んできました。間違いがないか必ず毎回チェックし、間違えないように対処してきました。アルバイトを通じて、仕事経験を積んだだけではなく、丁寧で正確な仕事をするということを心がけています。

私はコミュニケーションが好きで、学業とアルバイト以外、週に一回外国语交流のボランティア活動に参加しています。中国語や英語に興味のある日本人と、一对一の形で中国語や英語と日本語の会話をを行い、語学の勉強だけでなく歴史や文化について語り合います。そこでの経験は自分の

ためになり、他者の役にも立つことができました。更に、様々な人とも交流ができるため、自分の視野がかなり広がりました。



「就職活動を終えて」

山口 佳佑

現代法学部 4年

私は、自分の希望する企業から内定をもらい無事に就職活動を終えることができました。今回は、私が就職活動中に感じたことをお伝えしたいと思います。思い返してみると、就職活動がスタートするまで、一番入念な準備をしていたのではないかと思います。私は、もともと不動産に興味があり宅地建物取引主任者の資格を取ろうと思いつゝ勉強を続けてきました。無事に試験に合格した後、いざ就職について考え始めた時に、「はたして自分は本当に不動産という仕事がしたいのか」という疑問がわきました。そこから自己分析やエントリーシートの作成と並行して、多くの卒業生に話を聞き自分が本当は何をやりたいのかを考え続け、最終的にたどり着いたのが「建設」でした。

就職活動中特に感じたことは、一人で何でも抱え込まないということと、卒業生の大切さでした。1日に何社も会社説明会を掛け持ちするため、慣れないスーツを身にまとめて、見知らぬ場所に Google マップを頼りに歩きまわり、自信があつたにも関わらず直接で落とされました。そんな時は、家族、友人、キャリアカウンセラーなど話せる人をみて相談することで次に進むことができました。特に私は、キャリアセンターのカウンセラーに話すことでき持ちがとても楽になりました。

一人で抱え込まないということは、就職活動をしていく上で一番重要なことがあります。また、「自分が働きたいと思っている会社は、自分に本当に合うのか」「自分が求めている会社なのか」など、インターネットや資料だけでは解らないことがたくさんありました。そんな時は、自分が興味を持つていてる企業で働く卒業生を訪問し、研修制度、福利厚生、仕事の実態など自分が知りたいと思うことを詳しく聞くことができて参考になりました。実際に自分が入社した後のイメージを掴むための一番の近道で、それが決め手となり内定を頂いた企業に迷わず決めました。



～校友センターからのおしらせ～

学生の皆さん、父母の会を活用しよう！

～父母の会は学生の皆さんの
学生生活を応援します～

★100円朝食

一日のスタートは栄養バランスの良い食事から！授業前に朝食を摂る習慣を身につけよう！

実施期間：土日祝日、休暇期間を除く平日授業日
時 間：8:00～8:50 場 所：葵陵会館 生協食堂
メニュ：メイン（日替）、副菜（2品）、ご飯（大盛可）、小豚汁
金 額：学生負担100円（1食あたり父母の会が200円を補助）



100円朝食の様子

★「学生課外活動援助金」

本制度は皆さんの課外活動がより充実したものとなるよう、活動援助金の交付を行っています。より多くの学生団体、体育会、文化会等が活用し、活動の活性化に役立てていただければと思います。詳細は父母の会事務局まで。

問合せ先：東京経済大学父母の会 042-328-1767（大倉喜八郎 進一層館 地下1階 校友センター内）

葵友会からのお知らせ

◆葵友会サポーター募集！！

東京経済大学葵友会（きゅうかい）は、発足以来100年を超える東京経済大学の前身校時代からの同窓会です。葵友では、葵友会活動をサポートしていただける在学生を随時募集しています。

お願いする仕事は・・・会誌「東京経済」の編集補助、ホームカミングデーなど各種イベントの手伝いなど・・・興味のある方は、校友センター（大倉喜八郎 進一層館 地下1階）葵友会事務局までお問い合わせください。

葵友会の主な活動

- ・在学生への奨学金・援助金の給付
- ・全国の支部に就職協力委員会を配置し、地元の就職情報の提供
- ・卒業生同士の交流 など

問合せ先：東京経済大学葵友会 042-328-8034（大倉喜八郎 進一層館 地下1階 校友センター内）